

2018年度 交換留学 留学報告書

コミュニケーション学科 3年

留学先：アメリカ ワシントンカレッジ

留学期間：2018年8月～2019年5月

私は留学を通して、自分の中で新しいスタートを切ることができたと考えております。アメリカへ行く前の私は、アメリカは自由で、平等で、皆が自立しているかっこいい国だと考えていました。しかしながら、社会学の授業で学んだりアメリカの友人から話を聞いたりしていると、まだまだ人種差別や性差別、貧富の差など、日々の生活にも沢山の問題があり、昨日まで元気だった友人が突然自殺したなどの話を耳にし、自由や平等のためには何かが犠牲になっているということを身に染みて感じました。

幸運なことに、私はアメリカ人の友人を作ることができ、その家族も私に良くしてくれ、イベントや週末は一緒に過ごしていました。そのため、人種差別も体験したことはありませんでした。日本人として、アジア人として、アメリカで暮らす大変さというものは一部のみで済んだと感じておりますが、それと同時に世界で活躍する日本人に興味を持つようになり、いつかは自分もその仲間に入ることができたらいいなと考えるようになりました。

英語力は、日本語で例えるとひらがな・カタカナを習得したレベルであると考えます。ここからどのようにして大学時代に築かせてもらった英語やアメリカ生活での経験を活かしていくかが重要であると感じています。

就職活動を控え、自分がどのような職につくのかもまだ分からない状況ですが、英語力を活かし、日本人として社会に貢献できるよう、今後も成長し続けたいです。